

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	072 -	事業名	子育て支援センター運営事業		担当部課	子ども部子ども家庭課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計区分	一般会計				
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		予算区分(款 - 項 - 目)				
	第6次総合計画・基本目標	✓ 子どもが元気に育つまち	3-2-1 児童福祉総務費					
	法定受託事務の有無	✓						
	その他(関係計画、要綱等)	✓	子ども・子育て支援法					
事業開始の背景、経緯等	平成20年度から、次世代育成支援法(当時)に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行うものとして開始した事業。							
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の子ども及び子育て中の保護者						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子育て環境の孤立化を防ぎ、虐待のない健やかな環境で子育てができること。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 子育て支援センター運営事業	改善・見直し	④				
	②			⑤				
	③			⑥				
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	事業費(A)	千円	予算	2,883	3,001	2,555	3,071	3,096
			決算	3,113	3,384	2,662	3,095	
	人件費(B)	千円	決算	3,112	4,294	5,450	5,416	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	6,225	7,678	8,112	8,511		
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
	A 市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	人	目標	23,000	24,960	24,960	24,960	24,960
			実績	20,259	24,673	20,065	18,793	
	B		目標					
	C		目標					
			実績					
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) A 前年度実施からの増加（平成28年度からは、子ども・子育て支援事業計画の数値に変更） B C							
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町						
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標達成はできていないが、来館者数に対して定員超過を理由に制限を行ったことはなく、全ての来館者の受け入れはできている。なお、来館者が平成28年度に比べて減少しているのは、各種講座について児童館で実施する等、アウトリーチを進めているためである。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 概ね計画どおりに遂行はできている。						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、子育て支援センター運営事業に対する一定のニーズは継続していくものと考えられるため、引き続き事業の拡充に努める。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も引き続き、利用者が参加しやすい環境づくりに努めていくとともに、利用者ニーズに合ったプログラムの改善等に取り組んでいく。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 本市では引き続き児童数が増加傾向にあることから、こうした状況に対応できる体制を構築していきたい。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	子育て支援センター運営事業		担当部課	子ども部子ども家庭課	決算書ページ	—
事務事業名	①	子育て支援センター運営事業	予算区分	3-2-1 児童福祉総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内の子育て中の親子に対し、子育て支援センターを運営することで、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子育て中の保護者を安心して子育てができるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	948	3,001	2,555	3,071	3,096
		決算	1,185	3,384	2,662	3,095	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 一般事務嘱託員報酬						2,540	千円
(2) 消耗品費						229	千円
(3) 清掃委託						86	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
来館者数	人	見込	23,000	24,960	24,960	24,960	24,960
		実績	20,259	24,673	20,065	18,793	
		見込 実績					
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
<ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進に関する事務 子育て等に関する相談、援助の実施に関する事務 地域の子育て関連情報の提供に関する事務 子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施に関する事務 → リズム遊びや育児講座等を合計で38回実施							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

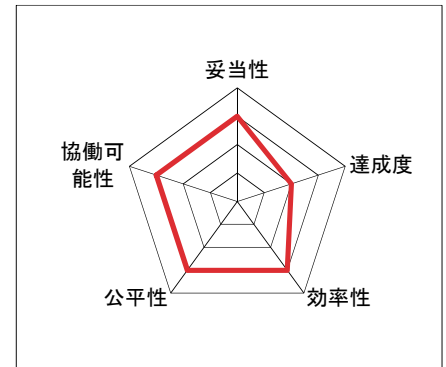
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 子育て支援ニーズに対する身近な地域での支援体制の構築が必要となっている。
--

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
3,071 千円 3,096 千円 25 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 改善・見直し
・前年度【コメント】
講習会の見直しを継続していくとともに、ファミリーサポートセンター運営事業における会員同士の交流の場の提供の取組とも連携を図ることで、地域の子育て環境の向上に取り組んでいく。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
引き続き、地域に出向いての事業実施を意識していくとともに、施設内で実施している事業についても、より魅力的なプログラムとなるよう改善を図り、利用者ニーズに沿った内容としていく。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数 (人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況 (30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 利用者ニーズを捉え、事業内容について質の向上を図ることができている。
--

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など) 講習会の見直しを継続していくとともに、ファミリーサポートセンター運営事業における会員同士の交流の場の提供の取組とも連携を図ることで、地域の子育て環境の向上に取り組んでいく。 (※ 平成29年度の来館者数の減少は、地域での事業実施に伴うもの)

7. 今後の方向性

改善・見直し